

育徳園ボランティア日記(平成26年11月)

平成26年11月26日	いくとくⅡ
ボランティア	詩吟
参加者	辻野功一 荻野正雄 坂東俊介 永田剛征

- ・初めて詩吟同好会がボランティア活動に参加しました。
- ・右のような漢詩、和歌、俳句、歌などの詩吟を吟じました。25人ほど参加いただき、みなさんと一緒に大きな声で吟じました。
- ・参加者の中には昔 詩吟を楽しんでおられた方もおられ、最後にはアンコールの声を2回いただきました。



漢詩 謝道韞之作「西廂記」
 人生一五十 功無きを嘆ず 花木春過ぎて 夏已に中なり
 満室の香蟬 掃えども去り難し 起つて禪榻を尋ねて清風に臥せん
 漢詩 木村岳庵作「春日行」
 郊外路を牽けば 一路通ず 人家の春色 翠煙の中
 鶯鶯啼く處 試みに首を回らせば 一点の梅花水に映じて紅なり
 漢詩 漢魏作「蘭庭夜涼」
 月落ち烏啼いて 霜天に満つ 江楓 漁火 愁眠に對す
 秋聲 城外の 寒山寺 夜半の鐘声 客船に到る
 和歌 安徳仲實出「唐土にて月を見てよみける」
 天の原 ふりさけ見れば 春日なる 三笠の山に 出でし月かも
 蛙飛び込む 水の音 陸寺 鐘が鳴るなり 法隆寺

平成26年11月26日	特養いくとく
ボランティア	将棋
参加者	峠山松司 坂東俊介 山崎孝 辻野功一

・11月26日(水)に育徳園こどもの家で6回目のボランティア活動を実施しました。今回は詩吟同好会の辻野さんに特別参加いただき、またこどもの家で将棋顧問をしている野田氏も含めて5名でPM5時30分から2時間あまり子どもたちの将棋の相手をしました。今回から対戦表を担当の吉田さんが白板に作成して結果が分かるようになりました。将棋のマナーを子供たちに指導しているのか、駒の並べ方もルール通り(大橋流)に並べ、終了すると駒数(41枚)を数えて確認してから箱に閉まっているのにはびっくりしました。勝敗は別にして、元気で真剣な眼差しの子供たちと指していると我々も元気がもらえて楽しくなります。来年の2月9日に子供たちの将棋大会があるとのことで、特訓の意味で3月25日の予定を2月4日に前倒しで行うことになりました。

